

AGUDAA - V - UE PHILIPPINE Dental Charity - Clinic Tour 2017.5 報告書

期日：2017.5.4-5.8 Charity clinic：5/5.5/6 の2日間 団長 亀山正道

場所：South Triangle, Quezon city, Phlippine

協賛：朝日レントゲン K.K、GCK.K、川西旭彦先生（7回生）、阿瀬井宏成先生（19回生）

国際開発（株）IDI レインボーツアー名古屋支店 伊藤淳一

参加者：{(日本歯科医師8名 歯科衛生士2名 放射線技師1名 歯科関係商社2名)}

{(UE大学歯科医師約30名 医師2名 地元コミュニティ約30名 成田子2名)}

<準備>

テンポラリーライセンスの取得は、12月から始め、日本で厚労省と比国の申請書を何枚か綴り、自筆サイン後、大阪の公証人役場・法務省・外務省・領事館を経て、比国での厳正審査後に許可証が出されます。今までにも写真がパスポートと同じでない、他人の筆記ではないかの疑義で何回か返戻され慌てた経緯もありました。

当初、各薬剤は信頼性の高い日本で調達していましたが、最近は薬事法強化で難しく現地の薬剤に変えました。材料や機械のメンテは現地できるものは、できる限り現地で行うように移行してきました。荷物は当初の数十箱の段ボールから、在住の成田先生宅に保管・メンテナンスを依頼して2~3のスーツケースで入国するように変更しました。申請手続きと同時に活動場所の設定を進め、比国のキーパーソンはUE大学の先生、在住の成田先生で動いてもらっています。現地の移動バス、ホテルの手配などデポジット（前払い制度）で事前の準備が必要です。時に活動場所の下見の為、訪比することもありました。準備は周到に行うこと成否に直結します。

<宿泊場所の選択：1日目 5月4日>

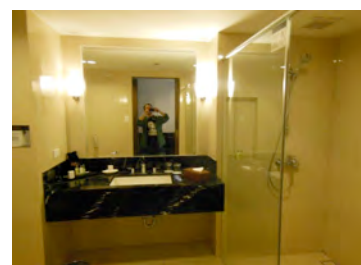
活動で疲れた体を癒すのはホテル環境が大切です。停電なっても自家発電で動かされるのか、水お湯が出るのか等の細かい配慮も必要ですが、場合によって開けてびっくりのホテル滞在も以前にはありました。今回のLuxenthotelは満足できた快適な休息地でした。

<デンタルショー参加：2日目 5月5日>

PDA（108th Philippine Dental Association Annual Convention and Scientific meeting）年1度の開催に参加しました。レクチャー、研修会、デンタルショーのオンパレード、学院長尾先生も招聘され思わぬ対面でした。私たちは、デンタルショーだけの参加でした。それでも参加費無料交渉後、登録し写真付きタグを作成して入場できました。1万人を超える関係者は活気ある歯科盛況ぶりを思わせエネルギーギッシュな出店会場を廻りました。材料・機械関係も東南アジアでのメーカーも多く出展、所狭しに並べられ盛況でした。矯正器具・抜歯鉗子なども雑多の中で並べられsale（20~30%引き）で販売されていました。夕食にはフィリピン料理で英気を養いました。

<チャリティークリニック：3日目 5月6日>

ケソン市のsouth Triangleのコミュニティーセンター、8:00~12:00まで活動。初めての場所でしたが、会場が広く余裕を持ってできる場所でした。当初、午後も予定をしていたが、同地域でフェスティバルがあるとのことで切り上げ、患者数は203名と順調に流れて皆精一杯汗を流しました。午後には、次年度の為の候補地区として、小田先生とSanday先生、ニール先生、地元の保健を管理している先生と一緒に車で巡回しました。この地区は、以前のトンド地区より貧困区と訴えていました。“百聞は一見に



如かず” 車から外へは出ない、窓を閉めての写真撮影で観てきましたが、昔の雰
囲気を思い起こさせる匂いと住環境を視察しました。

<野外診療：4日目 5月7日>

7時出発、地元フェスティバルの為、建物内での使用ができないため、野外診
療が計画されていました。電気は使えませんでしたので、主に抜歯主体で、ター
ビンエンジンは使用不可、スケーリングは手用のみの仕事でした。炎天下での
心配はありましたが、日陰の道に椅子の配置、テーブルを並べてセッティング、
パレード行進を横目に見ながら何とか診療することができました。UEからはル
シアナ学部長を始め多くの先生が参加してくれました。交代に抜歯を行って勉強
になるところがありました。8:00~11:00まで84名ほど医療サービスがで
きました。昼は自由時間。夕食はカマヤンレストランで焼肉・しゃぶしゃぶで食べ
放題、飲み放題で腹を満たしました。

<帰国：5日目 5月8日>

帰国、渋滞を心配して9時にホテルを後にしました。近道を迂回してくれたの
か以外にも早く空港に着きましたが、入国審査で1時間以上並びました。連休後
にもかかわらず満席でした。到着便が遅れ1時間遅れで出発しました。早めに預
けた荷物受け取りは最後に出てきました。無事帰国できました。家に着くまでが
この旅の終わりの言葉で仲間の絆を強く致しました。

<国事情の変化>

旧紙幣が2017年3月まで使用はできるが新札に変えないと市場で使えないと、
そんなことはないのではと昨年は思っていたのだが、残りのペソは多額(約15
万ほど)、ただの紙になってしまうのか、とショックを受けていました。ダメも
とで成田先生に連れられ銀行へ、なんと交換可能は7月まで延期されたとのこと
で天にも昇る気持ちになりました。日本の発想では、旧札は期限付きにはなら
ないとタカをくくっていたこともありましたが。当地では偽札が横行していたため
と大統領が変わったのではとの推測でした。

滞在中6日マニラ市キアポで2回の爆発があり、情報が現地からでなく、スマ
ホで日本の情報から知りました。ホテルから30分ほどの距離でした。これは大
変だと思っていましたが、現地の成田さんや旅行社に聞いても知らない、「あっ
そう」とつれない返事、先月にもキアポで爆発があったようだ。受け取る感覚が
違うのでしょうか。また、活動した結果を2週間以内に市に報告するようにメール
が届きました。ラインを仲間で共有する技術も今回覚えました。

<サラマポー！>

色々な実体験から得られるものはそれぞれに記憶にインプットされますが、頭
の中の思考だけでは夢物語、今回も参加することで自分の足で歩き身に着くエキ
スが多分にありました。皆さんからの暖かい支援があつての継続です。言葉のハ
ンドはあつてもジェスチャーを交え、同じ目標に向かって活動は、それぞれの宝
にもなります。同じ釜の飯を食べた同朋としても連帯感が生まれます。次回、来
年の活動場所を視察することができ、新たな挑戦として皆さんと一緒に活動で
きることに楽しみにしています。ご支援、御協力戴いた皆さんに心から敬意と感謝を伝えたいと思
います。サラマポー、フィリピン！！

